

す え ひ ろ て い

末廣亭について調べるには

「パスファインダー」(Pathfinder)とは、疑問や問題を解決するために図書館の資料や情報を探す際に参考となる基本資料や情報源、調べ方を紹介する「テーマ別の手引き」のことです。

皆様の調べものや本探しにお役立てください。

新宿三丁目駅を出てすぐにある寄席の老舗、末廣亭では落語をはじめ講談、漫才などの多彩な出演者が次々に自らの芸を披露します。テレビやインターネットでも日々お笑い芸人の活躍を見ることができますが、それらのルーツともいえる古典芸能の数々は、時に他の演者の内容をふまえ、客席とのやりとりも交えながら繰り広げられます。その日その場にいなければ味わえない、一回きりの得難い体験となるでしょう。

お調べになる上で、わからないことがありましたら、お気軽に図書館職員におたずねください。



調べるためのキーワード

新宿区立図書館の検索機、もしくは、新宿区立図書館ホームページ「[簡単検索](#)」で「キーワード」を入力すると、関連資料がどこの館にあるのか確認できます。

色物 演芸 高座 講談 真打 席亭 前座 仲入 噺家 二ツ目 寄席 落語



直接図書館の棚に行って探す

図書館の資料は、テーマ(分類)ごとに番号順で並んでいます。本の背表紙には右の図のようなラベルが貼ってあります。上段は別置記号、分類番号、下段は図書記号です。

図書記号は、原則著者名のよみの頭文字です。 [分類番号等について詳しくはこちら](#)

このパスファインダーでは、(資料番号 別置記号 分類番号 図書記号)の順で表記しています。 例 (0060123450 R336.8-シ)

()の後ろは所蔵館です。「*」は、記載した館以外にも区内に所蔵があります。

分類番号

R336.8

シ

別置記号

図書記号

- 『[新宿末広亭 春夏秋冬「定点観測」](#)』長井好弘／著 アスペクト 2000年12月

【ISBN】4-7572-0808-1 (0201140730 C779-Sナ) 四谷*

末広亭に一年間通い、噺家から色物芸人まで千本以上を記録する「寄席の定点観測」。

- 『[新宿末広亭のネタ帳](#)』長井好弘／著 アスペクト 2008年8月

【ISBN】978-4-7572-1508-5 (0201790462 C779-Sナ) 四谷*

誰が何を演じたかの楽屋の帳面「ネタ帳」のデータから、末広亭と噺家の7年間を眺める。

- 『[聞書き・寄席末広亭](#)』北村銀太郎／述、富田 均／編著 平凡社 2001年1月

【ISBN】4-582-76379-0 (0003209313 C779.1Sキ) 中央*

末広亭の初代席主(運営者)北村銀太郎が、明治から昭和にわたる人生と芸の世界を語る。続編もあり。

- [『新宿末廣亭うら、喫茶「楽屋」』](#) 石川光子／述、石井 徹也／著 アスペクト 2013年3月
【ISBN】978-4-7572-2166-6 (0250365473 C779-Sイ) 四谷＊
昭和33年創業、各時代の名人も通った末廣亭裏にある喫茶店「楽屋」。数々の逸話を店主が語る。
- [『小沢昭一的新宿末廣亭十夜』](#) 小沢昭一／著 講談社 2006年7月
【ISBN】4-06-213478-0 (0003865124 C J46-Sオ) 中央＊
映画にラジオに活躍した小沢昭一が末廣亭に出演した10日間の記録。



専門事典・辞典で調べる

- [『落語演目・用語事典』](#) 稲田和浩／編 日外アソシエーツ 2021年1月
【ISBN】978-4-8169-2861-1 (0260308795 R779-ラ) 四谷＊
演目と寄席用語の事典。キーワードから引ける索引もあり。落語の歴史から聴き方まで、詳細な解説付き。
- [『東都噺家系図』](#) 橘左近／著 筑摩書房 1999年1月
【ISBN】4-480-87713-4 (0200967120 R779-タ) 四谷
江戸東京の噺家の、襲名経路や師弟の系譜をたどる。系図に解説、顔写真、索引を付す。
- [『落語事典』](#) 東大落語会／編 増補 青蛙房 1979年
【ISBN】なし (0200540908 R779-ラ) 四谷
落語事典の草分け的存在。千以上の演目の梗概を収録。研究用にも未だ色あせない一冊。



雑誌・新聞・視聴覚資料（CD・DVD等）で調べる

雑誌

- [『東京かわら版』](#) 東京かわら版 毎月28日発行
【所蔵館】中央図書館（1年保管）
日本で唯一の寄席演芸専門の情報誌。小さな誌面の余白の隅まで、演芸会や出演者の情報が満載。

CD

- [『新宿末廣亭 深夜寄席～百花繚乱編～』](#) エイベックス・マーケティング 2012年7月
【品番】AVCD-38507 (0242112972 E06シン) 四谷＊
土曜夜の末廣亭、若手噺家たちが出演する「深夜寄席」をCD化。他に『骨太肉厚編』『眉目秀麗編』もあり。

DVD

- [『柳家花緑の落語入門』](#) GPミュージアム 2009年
【品番】DMG7959 (0244006149 DV43) 四谷
戦後最年少22歳で真打ちに昇進した噺家が落語の魅力を語る。自身の演目や対談を収録。

● 『プロフェッショナル仕事の流儀 噺（はなし）家・春風亭一之輔の仕事』 NHK 2017年

【品番】 NSDR22668 (0044053109 DV64) 中央

人間国宝、柳家小三治に「久々の本物」と称され、21人抜きで真打ちとなった噺家に密着する。

※新宿区立図書館では、様々な演者・演目の視聴覚資料があります。それぞれ検索してみてください。



商用データベースで調べる

ジャパンナレッジ

新宿区立図書館が提供するデータベースのうち、「ジャパンナレッジ」では辞事典だけでなく、「東洋文庫」などのシリーズを閲覧できます。詳しくはお問い合わせください。

- 『講談落語今昔譚』 [東洋文庫 652] 関根黙庵著 山本進校注
落語・講談の起源から人情噺の末路まで、話芸についての日本初の通史。
- 『新編 落語の落 1』 [東洋文庫 611] 海賀変哲 小出昌洋編著
明治・大正期の文人、海賀変哲が集めた三百数十種の落語の「落（さげ）」にあらすじを付す。2巻もあり。



インターネットで調べる

- 落語芸術協会 <https://www.geikyo.com/index.php>
200名以上が所属する公益社団法人、通称「芸協」のHP。「落語はじめの一步」の紹介記事がわかりやすい。
- 落語協会 <https://rakugo-kyokai.jp/>
噺家の二大団体の一。一般社団法人。芸協より歴史は古い。「芸人紹介」で真打、前座など階級別に確認できる。
- 文化デジタルライブラリー <https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/>
舞台芸術について学べる解説や公演記録、国立劇場所蔵の絵画等の画像を見ることができる。
- 日本芸術文化振興会 <https://www.ntj.jac.go.jp/index.html>
独立行政法人。舞台芸術の普及、伝承のための活動を行う。各国立劇場の利用案内や公演情報を確認できる。



他の図書館、類縁機関等で調べる

末廣亭でも演じられるさまざまな伝統芸能をさらに深く知り、味わうために、足を運んでみては。

- 東京都江戸東京博物館 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/>
江戸東京の歴史文化についての専門図書室があり、資料の閲覧ができる。貸出は不可。

●国立劇場視聴室 <https://www.ntj.jac.go.jp/kokuritsu/view.html>

国立劇場・国立演芸場での公演の映像・録音が視聴できる。事前予約制、有料。

**末廣亭を訪ねる**

末廣亭では、ひと月を上席（かみせき）、中席（なかせき）、下席（しもせき）に分け、落語芸術協会と落語協会が交互に出演します。月末には特別企画の興行があります。予約制でなく、窓口で入場券を購入し自由席となります（一部団体前売があります）。

●新宿末廣亭 <https://suehirotei.com/>

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-6-12 電話 03-3351-2974

※掲載情報は2024年1月11日現在のものです。

※新宿区立図書館では、このパスファインダー掲載資料の他にも関連図書を所蔵しています。

※新宿区立図書館ホームページの所蔵検索結果の見方は[こちら](#)

ご覧になりたい方は、図書館職員までお問い合わせください。

担当：新宿区立四谷図書館（紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体）